

第15回埼玉県母性衛生学会総会・学術講演会プログラム

1. 日 時 平成10年11月6日（金）午後2時開会
2. 場 所 埼玉県県民健康センター2階大ホール
浦和市仲町3-5-1 電話 048-824-4801
3. 次 第

埼玉県母性衛生学会総会 (14:00～14:20)

報告事項

埼玉県母性衛生学会学術講演会 (14:20～17:25)

会長挨拶 埼玉県母性衛生学会会長 木下勝之

一般演題

1) 思 春 期 問 題
(14:20～14:47)

座長 大蔵健義（獨協医科大学越谷病院）

- 1 当院産婦人科を受診した思春期患者の最近の傾向
獨協医科大学越谷病院産婦人科
○榎本英夫、友部勝実、平林英雄、矢追正幸、星本和倫、堀中俊孝
三ツ矢和弘、林 雅敏、大蔵健義
- 2 若い女性の食習慣と食に対する意識について
埼玉県立衛生短期大学看護学科
○坂本めぐみ、兼宗美幸、松村恵子、渡部尚子
- 3 女子学生の更年期に対する意識
埼玉県立衛生短期大学看護学科
○兼宗美幸、坂本めぐみ、松村恵子、渡部尚子

II) 長期入院と看護

(14:47～15:23)

座長 永田一郎 (防衛医科大学校)

4 当院における切迫早産危険因子について

獨協医科大学越谷病院 3階南病棟

○田中久美子、喜多川美代子、大蔵健義

5 行動制限がある切迫早産の妊婦との関わり

～ストレッチ体操を試みて

大宮赤十字病院産科病棟

○小野寺明美、尾崎美樹、小林淳子、桐谷真名美、斎藤和子

6 長期入院妊婦と夫の不安とストレス

～妻の入院による夫への影響～

防衛医科大学校病院産科病棟

○河野恵利香、熊谷美津江、近藤香織、晴山路子、藤本真由子、

入佐瑞穂、工藤僚子、佐藤節子

同 産婦人科教室

徳岡 晋、古谷健一、永田一郎

7 根治術後に化学療法をうける卵巣癌患者の心理的变化

埼玉医科大学付属病院婦人科病棟

○川原君子、中林麻美、金子やす子

－ 行政報告 －

(15:23～15:38)

「ダイオキシン類の人体への影響

－母乳調査と奇形発生調査－」

埼玉県健康福祉部健康増進課長 田中 倬

【コーヒースタンド】 (15:38～15:55)

Ⅲ) 女性と妊婦への精神的ケア

(15:55～16:49)

座長 小田切房子(埼玉県立衛生短期大学)

8 HIV感染妊婦看護の試み

越谷市立病院産婦人科病棟

○山下裕美、鶴町祐子、廣瀬尚美、堀米千恵、湧井純子

9 女性健康支援事業をスタートしての状況報告

川越保健所

○荒 スミ子、安達昭見、安田恭子、斉藤富美代、大沢紀昭、
大熊八重、丹野瑳喜子

10 子育て支援に関する母親の意識調査

－祖母への期待を通して－

埼玉県立衛生短期大学

○駒林千春、小田切房子

前 埼玉県立衛生短期大学

吉田谷 弘

11 染色体異常児を出生した母親が児を受け入れるまでの援助

埼玉医科大学附属病院 新生児未熟児センター

○大野はるの、浅香洋美、小菅久子、延足典美、黒田 香
大野友香、平野ひさ子

12 周産期診療における医療チームの連携について考える

－胎児異常を伴う妊婦の精神的ケアを通して－

浦和市立病院

○永澤規子、見目雅美

13 妊産褥婦へのエモーションナルサポートのシステム作りに関する研究

埼玉医科大学総合医療センター 3階西病棟

○松本幸子、船生真紀、景山直子、神田千恵、白石道子、谷島春江
砂子澤 育

同 産婦人科

臼井真由美、林 正敏、小林浩一、関 博之、竹田 省、木下勝之

IV) 助産婦の役割
(16:49～17:25)

座長 木下勝之（埼玉医科大学総合医療センター）

14 地域活動と助産婦

日本助産婦会埼玉県支部

○高橋麻里子

15 地域における開業医と開業助産婦との連携

症例と産後ケアを通して

日本助産婦会埼玉県支部 朝霞地区出張開業

○桜井裕子

16 助産所における自然分娩の選択基準

日本助産婦会埼玉県支部

○斉藤悦子

17 深谷赤十字病院における助産婦業務

深谷赤十字病院助産婦長

○江角二三子

閉会の辞 埼玉県母性衛生学会副会長 永田一郎

- ◎ 一般演題の講演時間は1題につき6分、討論時間3分にてお願いいたします。
- ◎ 産婦人科医師には日本産科婦人科学会研修受講フルシールを発行します。
- ◎ 学会参加費1,000円を受付にて申し受けます。（年会費1,000円）